

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

豊かな自然環境の保護・存続を使命とし、技術革新に努め、生産活動を通じて社会に貢献する

売上高
321億円

営業利益
11.8億円

売上高
290.46億円

営業利益
14.84億円

② 中長期の経営戦略

1. スマートメーター事業拡大

2025年度より第2世代スマートメーター導入に伴い、電力・ガス・水道向け関連事業でシェア拡大を目指す

2. 社会インフラ向け通信機器強化

5G用OTNプラットフォーム事業の実績を活かし、情報伝送の高速化・高度化と新規市場開拓を推進

3. ソフトウェア開発への挑戦

通信機器の製造販売に加え、情報通信機器を活用したサービス向けソフトウェア開発事業に挑戦

4. 公共工事業の拡大

5G基地局設置の一巡により、防災・減災・国土強靱化向け通信インフラ敷設等に参入拡大

③ 対処すべき課題

① 経営体質の強化

- ・ 下半期売上集中への対応と収益変動への柔軟な対応体制確保
- ・ 生産性向上・効率的な設備投資・原価低減の推進
- ・ 調達レジリエンス強化と販売価格への転嫁継続

② 技術力・付加価値の向上

- ・ 情報通信技術の高度化への対応と製品コモディティ化への抵抗
- ・ 通信の高速大容量化と低遅延・低消費電力等の高付加価値化への対応
- ・ AIやクラウドサービスを組み合わせたサービス・ソリューション提供

③ 企業価値向上への取組み

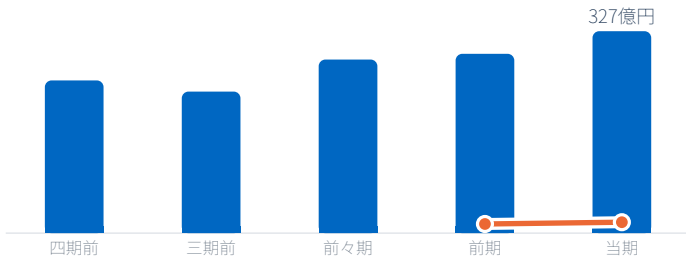
- ・ コア技術と将来方向を見据えた人材配置と育成
- ・ コンプライアンスと社会的責任課題への対応

面接で使えるポイント

- ・ 2025年度より電力会社が第2世代スマートメーター導入を開始する中で、黎明期からの実績とノウハウを活かしたシェア拡大戦略
- ・ 5G用OTNプラットフォーム事業の経験をもとに、データセンター需要やトラフィック増大への対応を推進
- ・ 防災・減災・国土強靱化に必要な通信インフラ敷設等の公共工事へ参入拡大し、社会貢献を実現

証券コード 6822

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
327億円営業利益率
5.4%財務健康度
39点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 43.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
725万円

電気機器内 98位/225社

平均年齢
47.1歳

電気機器内 27位/225社

平均勤続
20.8年

電気機器内 16位/225社

女性管理職
4.2%

電気機器内 122位/182社

男性育休
80.0%

電気機器内 92位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 大井電気(株)【6822】：決算情報

